

【計画】6-4.気候変動による檜原湿原の生態系への影響調査【佐賀県】

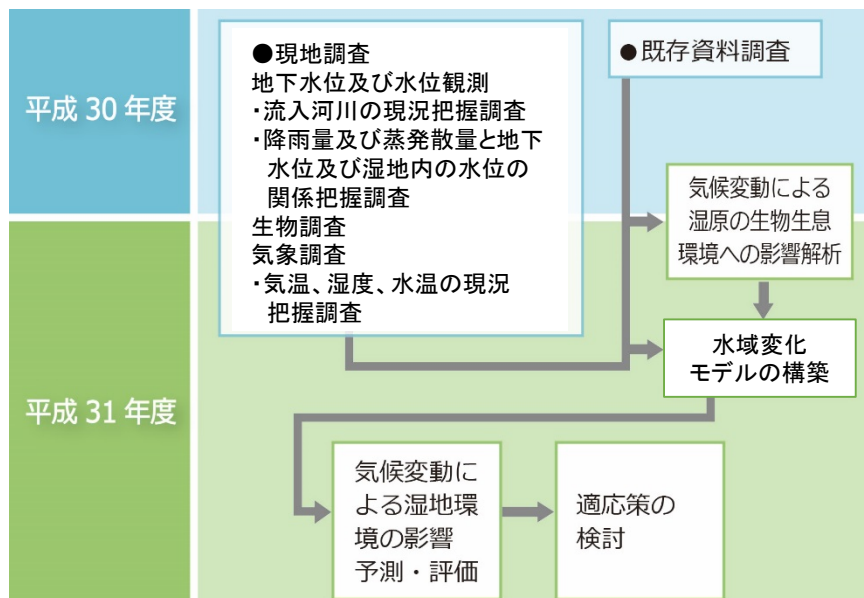
■ 目的

- 佐賀県の檜原湿原は、日本で珍しい低層湧水湿原であり、多様な動植物が生息・生育している。
- 近年の気候変動に伴う土砂・栄養塩類の供給量の増加、地下水位及び湿地内の水位変化により植生の変化及び生物の生息・生育環境への影響が懸念されている。
- 本調査は、現況の把握のための現地調査、分析、影響評価を行い、気候変動における湿原環境への影響を予測し、適応策を検討することを目的とする。



檜原湿原
((一財)九州環境管理協会撮影)

■ 調査計画(2カ年)



■ 実施体制

